

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
150001	X-01-A-1-150001	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	2年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	2年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	2年
キャリア開発1	申 銀珠			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	選択	2年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	選択	2年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	2年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	2年		

授業目的

- ・自分の人生という自覚を持ち、能力を獲得・発揮しながら自分らしく生きる方法を学び、実践に繋げる。
- ・さまざまな可能性や事例を参考に、自己の将来像を描く。
- ・自己の理解を深めて将来の自分を見据え、学生生活の計画を立て、実行する。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 キャリアデザインの意味（齋藤幸江） 自らのキャリア（人生）に向き合う意味、学生生活と将来の結びつきを理解し、充実した学生生活に繋げる。 【前・後】 授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第2回 【授】 充実した学生生活に向けて（齋藤幸江） 学生生活を充実させるための具体的な姿勢、考え方を習得し、自らの計画に活かす。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第3回 【授】 モチベーションアップ講座（リクルートキャリア） あるテーマに沿ってグループワークを通して自分の持ち味を認識する。また、学生生活の中で自身が取り組んでいる様々なことをスコア化し、前向きに今後も取り組んでいくことを構築する。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第4回 【授】 自己理解に向けて 1（齋藤幸江） さまざまな自己分析の手法を用いて、自分自身を理解する。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第5回 【授】 自己理解に向けて 2（齋藤幸江） 自分の特徴を日常生活や社会にどう活かすことができるかを考える。その上で、現在及び将来の目標に繋げる。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第6回 【授】 世の中の仕事を知る（広報しえん） 働くとは？県内にどんな企業があるか。どんな仕事があるか。それを知るにはどのような方法があるか。/個人ワークを中心に周囲との相談を含め様々な仕事（職種）・業種がある事を認識させる。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第7回 【授】 さまざまな進路（齋藤幸江） 大学生（特に新潟国際情報大生）が、どのように進路を選択し、そこで何を活かしているかについて理解し、自らの選択に活かす。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第8回 【授】 将来に活かす私（齋藤幸江） 人材への期待を知ると共に、人との関わり合いの中で自分を見つめ、改めて自己の特徴を把握する。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p>	<p>第9回 【授】 私の学生生活と将来（齋藤幸江） それまでの授業を振り返りながら、どんな学生生活を送り、どんな将来に結びつけたいかを考え、計画に繋げる。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第10回 【授】 答えのない問いについて考える課題解決プロジェクト（マイナビ） 答えのない問いを考えることを通じて企業活動を疑似体験する。チーム活動を通じて社会に出てから必要とされる力について学ぶ。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第11回 【授】 雇用に関する基礎知識（齋藤幸江） 就職活動や雇用に関する基本用語について、正確に理解する。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第12回 【授】 就職適性検査（ベネッセ） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第13回 【授】 今からできる将来設計（齋藤幸江） 将来を見据えた学生生活を、今からどのように送るのか、今できることは何かをこれまでの授業を踏まえながら、（再）設計する。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第14回 【授】 採用担当者から学ぶインターンシップや就職活動の心得！（にいがた人事キャリア協議会/キャリア支援委員会） 企業人との交流を通してこれから直面する進路にたいして、どのような考えで行動することが良いかを学ぶ。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第15回 【授】 まとめ（齋藤幸江） 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間</p> <p>第16回 【授】 （なし）</p>
--	--

成績評価方法

毎回の講義内容に関連する小レポートの提出状況、およびその内容によって評価（50%程度）する。また、授業参加/態度についても50%程度で評価する。小レポートの全体評価について後日公表する。

教科書・参考書

・キャリア開発1、2の共通テキストとして、「キャリアデザインの教科書」（北浦正行編著 労働調査会）を用いる。

受講に当たったの留意事項

- ・毎回のミニツッパーパーの内容、出席が評価対象となる。
- ・ミニツッパーパーに関しては、授業内容の理解、そして発展（我がこととして捉えているか）、表現（日本語の正しさを含む）が評価基準。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

- ・「キャリア」は自分自身の過去から現在、未来へと続いていく一連の流れの中で、自分自身の選択によって形成されていくという自覚・認識を持つことができる。
- ・自分自身に対する理解だけでなく、身を置く社会についての理解を深めることで、「自分らしさ」を生かし、「強み」を発揮しやすくなることが理解できる。
- ・「キャリア開発」のために有意義な学生生活の過ごし方を自ら考え、行動を起こすことができる。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習